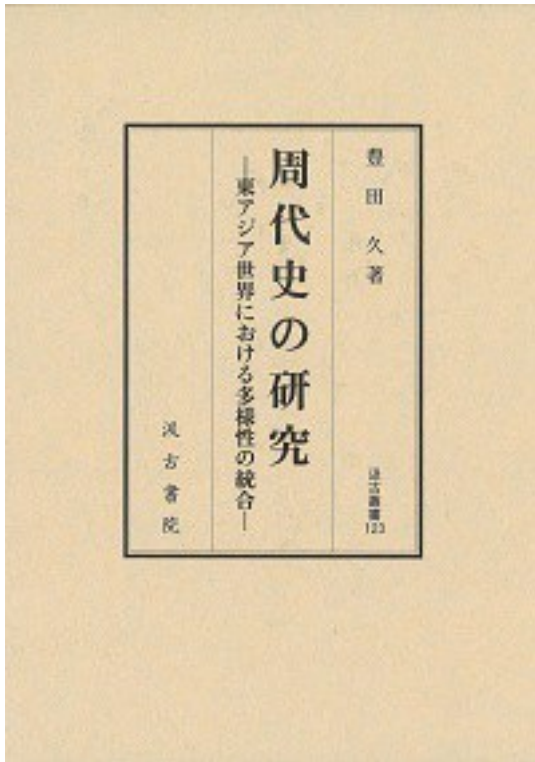


周代史の研究



[周代史の研究 下载链接1](#)

著者:豊田 久

出版者:汲古书院

出版时间:2015-5-11

装帧:Hardcover

isbn:9784762960222

<http://www.kyuko.asia/book/b193833.html>

最初期の東アジア地域において独自に生まれた、程度の差こそあれ多様な文化(習俗・習慣)をもった「四方」、「四国」や「万邦」の領域に住む人々や邦々を一つに統合するために必要とされた条件とは何であったのか。

同時代に作られた史料としての青銅器銘文を中心に考察する。

作者介绍:

目录:【主要目次】

第一章 周王朝における君主権の構造について

一「天命の膺受」者を中心に一

第一節「天命の膺受」者と「四方の匍有」者(天子と王)について

第二節「天命の膺受」者の性格について〔「上下の匍有」者と「四

方の匍有」者について・偏き「上下」祭祀の主体者・合わ

せて「万邦」(「民」と「疆土」)を天より受けた者

第三節「天命の膺受」者と世襲主義の結合について

第四節「天命の膺受」者から「四方の匍有」者へ(天子から王へ)

第二章 周王朝と「成」の構造について

一「成周」(「中国」)はなぜ「成」周と呼ばれたのか一

第一節「成周」と「四方」について

第二節「中国」(「成」周)の内と外について

第三節 西周青銅器の銘文上に見える「成」の字の用例について

〔「四方」(「四国」)における、国際的紛争の収束に係る

銘文上に現われる「成」の場合・その他(裁判・契約例

など)の銘文上に現われる「成」の場合〕

第三章 周王朝と弓彤考一「四方の匍有」者(王)の性格について一

第一節 異族が引き起こす国際的紛争を鎮定した功の場合

第二節 封建の場合

第三節 射礼の場合

第四章 周王朝と「上下」考

一「上下の匍有」者(天子)の性格について一

第一節 現天子(共王)が、周王朝の開設者・文王、武王の功績を
受け継いだことについて

第二節「上下の匍有」と「豊年」について

第三節「上下の匍有」の目的とその意味について

第四節 殷王朝と「上下」、そして祈年について

第五節「上下を匍有して」と「迨わせて万邦を受く」との結合について

第五章 周王朝とその儀礼

一王と臣下、又は神との間の意志の伝達方法について一

第一節 王と臣下の場合

第二節 王と神の場合

第六章 西周金文に見える、王の出自する「家」について

一婦人の婚姻そして祖先神、領地など一

第一節 王の「家」と婦人の婚姻について

第二節 王の「家」、臣下側の「家」について

第七章 周王朝の君主とその位相について一豊かさや安寧一

第一節「天命の膺受」と「受民、受疆土」について〔「受民」の「民」は
、もともと多様な異族を皆含んでいることについて・「受疆

土」の「疆土」と経済的富の生産について〕

第二節「四方の匍有」と国際的な安寧秩序〔「四方」(「万邦」)と国
際的紛争の収束について・「四方」の中心「中国」(洛邑)

と「帝廷」天宮について

第三節 周王朝の君位継承儀礼について

後書き／青銅器(金文) 索引 中文要旨 英文要旨

・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[周代史の研究_下载链接1](#)

标签

先秦史

日本汉学

周代史の研究

西周

汉学

出土文献

评论

[周代史の研究_下载链接1](#)

书评

[周代史の研究_下载链接1](#)